

約8割の夫は 家事をしない？

6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児関連時間は、妻の週全体の平均が1日あたり7時間34分。夫は1時間23分という結果が。共働きの世帯でも、家事は約8割、育児は約7割の夫が行っていないというデータも。

定時で切り替え、 家族の時間

男性の残業時間の多さと帰宅時間の遅さがワーク・ライフ・バランスを取りづらくしています。仕事以外の時間を増やすことで心のゆとりや自由な時間が生まれ、家族との時間が増えれば、支え合い一緒に過ごす時間が生まれます。



女性警察官の存在は重要

八千代警察署初の女性課長
現在は千葉県警察本部で活躍



柿澤 由紀子 さん

平成30年4月から、八千代警察署交通課長を務めた柿澤さん。現在は千葉県警察本部留置管理課に勤務しています。刑事として捜査の経験も。

女性が少ない警察で活躍。2児の母でもあります。子どもたちを出産する際には、育休を取得しました。仕事に復帰したときに、女性の警務部長が女性の活躍を組織全体に呼びかけて「置かれた踏み台には上りなさい。上がらないと見えない景色があるのよ」と背中を押してもらいました。職場の意識の変化は大きかったそうです。

警察の仕事は、とかくハードな面に目が向きがちですが、どこの部署でも女性警察官の存在は重要。「女性に適性がない業務って、あまりないと思うんですよ」。管理職としては、知識も必要ですが、一緒に仕事をする姿勢や雰囲気づくりが大切だと感じているそうです。

緊張感のある職場ですが、いつも笑顔で楽しく仕事することを心がけています。

「イクボス」は 心強い味方

「イクボス」は、職場全体で残業ゼロに取り組んだり、育児や介護など家庭の事情を抱えた部下に親身になって相談に乗ったりして、一緒に働く人のワーク・ライフ・バランスを考えながら、自分の仕事と生活も充実させます。



イクボスが 家庭と両立支えている

家庭のことで休みを取りたいけど、言い出せなくて…。そんな時、仕事と家庭の両立を支えてくれる上司「イクボス」がいてくれるとありがたいですね。

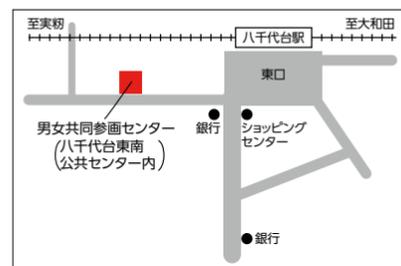
男女共同参画センター



男女共同参画センターでは、一人ひとりが自分らしく活躍できる社会の実現に向け、さまざまな講座を行っています。女性学を学ぶ団体や、男性の料理サークルなどが活動しています。

■これから開催する講座

- ・6月29日(土)／ひとり暮らしの防犯セミナー～自分のために、我が子のために～
- ・7月9日(火)・10日(水)／女性のための就職サポート講座



▲ホームページは
こちらから

「男らしさ」？「女らしさ」？ 大切なのは「自分らしさ」

なりたい自分になろうとした時に、「女なんだから」「男はこうあるべき」という言葉に、邪魔されてしまうことはありませんか。そして、自分も誰かにそんな言葉を投げかけていませんか。みんなが活躍できるように、一人ひとりの「自分らしさ」を大切にしていましょ。

チェンジしたい この言葉

女性／男性はこうあるべき
女性／男性なのに
女性／男性だから
→ 自分らしさ、自分らしく

